校友会の皆様へ

平成25年7月15日

明治大学校友会 多摩支部会報

多摩支部広報部会　　第５号　　支部長代行 安田 暉

▲羽村地域支部設立準備総会

▲多摩市地域支部設立総会

CONTENTS

P2 多摩支部総会過去の実績
P3 安田支部長代行挨拶
P4 西山幹事長（予定）挨拶
P5 日高理事長祝辞
P6 福宮学長祝辞
P7 向殿校友会長祝辞
P8 當麻組織委員長挨拶
P9 沼尻企画事業委員長挨拶
P10 地域支部PR（1）
P11 地域支部PR（2）
P12 地域支部PR（3）
P13 中野キャンパスフォト紹介

多摩支部総会

（2004年＝平成16年）

	第1回総会	第2回総会	第3回総会	第4回総会	第5回総会
開催日	2004年6月5日	2005年6月5日	2006年10月29日	2007年7月8日	2008年7月12日
開催場所	アカデミータワー リバティタワー	リバティタワー	立川グランドホテル	京王プラザ八王子	吉祥寺第一ホテル
総会～終宴時間	13：30～19：00	13：30～19：00	13：30～19：00	15：00～19：00	16：00～19：00
総会～終宴	5時間30分	5時間30分	5時間30分	4時間	3時間
来賓者数	7	7	8	8	7
総会来賓代表祝辞	青木 信樹 全国校友会長	長吉 泉 理事長	長吉 泉 理事長	松瀬 貢規 理事	長堀 守弘 理事長
議長	小島 寿一郎（府中）	大室 容一（府中）	岩崎 岩男（国立）	飯田 光宏（町田）	春山 勇（武蔵野）
講演会	岡野 加穂留教授 （公開）	松本 穣氏	松永 二三男氏	髙橋 昭夫教授 （公開）	なし
懇親会来賓挨拶	青木 信樹 全国校友会長	長吉 泉 理事長	長吉 泉 理事長	加茂 登千 東部支部長	長堀 守弘 理事長
アトラクション	抽選会20名当選	なし	大正琴演奏・ 星野稔子日舞	車人形・陣馬太鼓	ハーモニカ演奏
総会出席者数	227	117	250	238	215
講演会出席者数	281	123	259	262	——
懇親会出席者数	192	100	214	211	212
担当地域支部	総務部会ほか	総務部会ほか	昭島・小金井・国立	八王子・府中・町田	小金井・武蔵野・ 三鷹

	第6回総会	第7回総会	第8回総会	第9回総会	第10回総会（予定）
開催日	2009年7月4日	2010年7月11日	2011年7月23日	2012年5月4日	2013年7月15日
開催場所	立川グランドホテル	立川グランドホテル	立川グランドホテル	立川グランドホテル	立川グランドホテル
総会～終宴時間	15：00～19：30	16：00～20：30	13：00～16：30	13：00～17：00	13：00～17：30
総会～終宴	5時間30分	4時間30分	3時間30分	4時間	4時間30分
来賓者数	10	13	12	8	
総会来賓代表祝辞	市川 好和 理事	河内 隆志 理事	長堀 守弘 理事長	石橋 良一 理事	
議長	小林 貞夫（立川）	夏井 末春（国立）	石阪 康平（府中）	田中 節男（武蔵野）	小林 貞夫（立川）
講演会	立川談幸 師匠	北野 大 教授（公開）	なし	なし	向殿 政男 校友会長（公開）
懇親会来賓挨拶	市川 好和 理事	河内 隆志 理事	小林 喜男 副会長	白子 英樹 東部支部長	
アトラクション	ビバ・マンドリーノ	応援団・吹奏楽・ チアリーディング	サルサ演舞	講談　神田あおい 講談　神田陽司	応援団・吹奏楽・ チアリーディング
総会出席者数	212	273	276	240	
講演会出席者数	212	312	——	——	
懇親会出席者数	193	248	253	232	
担当地域支部	立川・小平・村山	昭島・国立・ 青梅・国分寺	八王子・府中・ 町田・日野	小金井・武蔵野・ 三鷹・東久留米	立川・小平・ 村山・あきる野

地域支部設立状況

2004年6月	青梅	2009年5月	日野	2012年7月	清瀬
2005年5月	三鷹	2011年6月	あきる野	2013年1月	多摩市
2008年7月	国分寺	2011年11月	東久留米	2013年5月	羽村

多摩支部第１０回定期総会に寄せて

＊＊更に多くの校友の関心を呼び込み
「明治はひとつ」をより具体的に＊＊

明治大学校友会東京都多摩支部
支部長代行　　安田　　暉　（昭３２年政経）

本日はご来賓をはじめ多くの校友の皆様にご出席を頂き誠にありがとうございます。

今回は平成１６年６月に１０地域支部で第１回多摩支部総会を開催して以来、第１０回目の節目の総会に当たります。担当された立川・村山・小平・あきる野」地域支部をはじめとして校友課及び校友会本部等関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

去る５月１１日には、１９番目の地域支部として羽村地域支部が誕生致しました。組織部会の積極的な働きかけに相呼応した地元ＯＢ・ＯＧ諸氏の誠に熱い連帯が実を結んだものであります。支部発足以来、支部長として全国に令名を馳せ、存在感を示し多摩地域の組織化に傾注された、故宮﨑國雄氏の意気込みが偲ばれます。

さて、今母校は、一般入試志願者数が４年連続日本一の達成をはじめグローバルな人材育成を企図した大学院大学の系列化そして、「グローバルフロント」や「中野キャンパス」の開設など矢継ぎ早の攻勢は大変嬉しく、誇りにさえ思います。右肩上がりの好実績にも拘わらず、ひたすら謙虚に「クオリティの向上」に努められており、母校経営陣・教職員の方々そして学生諸君のご活躍に感動致しております。

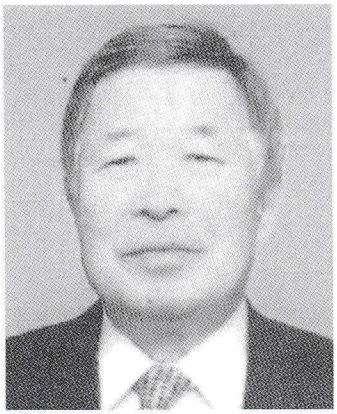
このような時期に迎えた多摩支部第１０回定期総会、それぞれの地域密着型明治ブランドの戦略的ＰＲを意図した催事が、年々参加人数を増やして参りました。市民祭での「明大焼きそば」は販売好調、ディスクゴルフ大会や餅つき大会など枚挙にいとまありません。

しかしながら、在住校友数から観た時、校友会活動への関心は残念ながら低調と言わざるを得ません。毎年送付している「支部総会案内」、東京都５支部計で、返信率１１．７％、出席率に至っては、郵送枚数の僅か０．８％、返信者数でも６．７％に過ぎません。もっともっと多くの校友に校友会活動に関心を持って頂けないのかというのが、本音であります。８８．３％の校友が返信にすら至らないこの現状を直視し、無関心な校友を如何に振り向かせるのか、難題かとは思いますが、地域支部活動実績を一つ一つ積み上げ、また母校においても学究・スポーツ等々の分野で頂点を極め、「明治」の名をより一層崇めていくことが必要かと思います。

多摩支部、組織化は進みました。これからは地域支部及び地域支部が連携した諸活動を更に進化させ、また母校及び校友会本部とも連携した、面白く為になる企画の創出を図り、明治大学ブランド力の更なるアップに努めていくことが、結果として、母校及び校友会事業等に関心を向けさせることになると考えます。

「明治はひとつ」をより具現化してまいりましょう。

第４回
多摩支部
ディスクゴルフ



多摩支部第１０回定期総会に寄せて

＊＊＊＊幅広く校友を結集し
魅力ある多摩支部を＊＊＊＊

明治大学校友会東京都多摩支部
幹事長（予定）　西山　強　（昭３６年　工）

第１０回東京都多摩支部総会の開催を、会員の一人として心より喜びとするところです。

私は今回、幹事長の拝命を受けました西山　強です。今後ともよろしくお願い致します。

多摩支部のこの１０年の歩みそして近況、大学の現況については、支部長が前項で述べておられる通りです。

大学と校友会は、車の両輪のごとき関係にあります。大学の躍進は校友の誇りであり、校友の活躍は、大学の評価の向上に資することは論を待ちません。

組織は、誕生後成長してやがて安定、成熟期へと発展していきます。多摩支部にとっては、全地域の組織化まで今一歩のところまで来たこれまでの十年を、誕生から成長期とすれば、これからの十年は、安定期への移行期とも考えられます。多摩支部の新時代と位置付けることが出来ると思います。

こうした意味で、今年は次の十年のスタートの年と言えましょう。

今後を展望するとき、今までの校友活動が現状の情報の流れの速さ等に合ったシステムになっているかの見直しから始めて、これまで以上に幅広く校友を結集し、魅力ある多摩支部づくりを進め、次世代に継承していくことが重要な課題と考えています。

１９地域支部の連携を強化し、地域とのつながりを保ちながら、楽しい、また参加したくなるような活動を展開して行くことが求められます。

ややもすると先輩・後輩との縦の関係で見られがちな校友同志のつながりを、同じ世代、同じ仕事、同じクラブやサークルなど横の関係や、同じ趣味同志などからも、学生時代の想い出を分かち合い、絆をつないで行くことで、連帯の輪が広がるものと考えます。その上で、世代間の交流を図り、若い力と女子校友の組織化を進めて行くことも、魅力ある支部づくりには欠かせないテーマと言えましょう。

これまで育んできた基盤の上に、新たな資産を将来に引き継いで行くことは、私達の使命と言えます。

本部とも連携し、「明治はひとつ」との旗のもと、「多摩もひとつ」との思いを一人ひとりが共有し、和気あいあいと「輝く多摩家族」と呼べるような支部を創って行くことが次の目標と考えます。

新たな明日に向かって、多摩支部の結集力を示し、紫紺魂を発揮し、全員でスクラムを組み、「前への精神で」前進して行きたいと思っております。

２４年度総会・懇親会

多摩支部第１０回定期総会　祝辞

＊＊皆さまと共に、世界に誇れる大学へ　＊＊

学校法人　明治大学
理事長　　日髙　憲三

校友会東京都多摩支部が、創立１０周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。これもひとえに、安田支部長をはじめとした歴代関係諸氏の母校愛と同窓の絆、努力の賜物と存じます。また、先だってお亡くなりになられた故・宮﨑國雄前支部長には、多摩支部草創期から支部の運営、発展に大変ご尽力をいただき、あらためて感謝申し上げます。

さて、明治大学の校友は、２０１３年３月の卒業生を含めると、５２万人を超えました。このうち、多摩支部は１９の地域支部を抱え、約２万２千名の校友がいらっしゃいます。校友の皆様の大学へのご支援は、理事長として大変嬉しく、そして心強く思っています。

ご存知のように、大学を取り巻く環境は、少子化の影響を受け、年々厳しくなっています。幸いなことに明治大学は、一般入学試験志願者数が７年連続で１０万人を超えるなど、社会から一定の評価をいただいておりますが、この社会的評価は、校友の皆様方ひとりひとりが、社会に貢献し、活躍した評価の積み重ねがあるからです。

高等教育機関である明治大学は、教育・研究をより充実させていかねばなりません。個の強い人間を育てる教育。時代の先端を行く研究。そして、その教育・研究の成果を世の中に還元する社会貢献。私は、これらの事業の基盤となるのは、明治大学を核としたヒューマンネットワークであると強く認識しています。そして、校友会はこのヒューマンネットワークに大きな役割を果たしております。

これからの大学の発展に、校友の皆様方のご協力は不可欠であり、特に明治大学の地元にあたる都内・近郊の校友会支部及び地域支部には、大きな期待を寄せています。多摩支部の地域には、体育会硬式野球部合宿所、明治大学付属中野八王子高等学校・中学校があり、校友の方々だけではなく、地域の方々とも深い縁がございます。このような縁を大切にし、今後とも明治大学を核としたヒューマンネットワークの形成に努めてまいります。

結びに、皆さまと共に、母校を世界に誇れる大学とできるよう、今後ともご支援、ご協力をお願いするとともに、校友会東京都多摩支部のさらなるご発展と、会員の皆さまのご健勝を心からお祈り申しあげます。

本年四月から利用開始したグローバルフロント（１７階建）イメージ図

多摩支部第１０回定期総会　祝辞

＊＊建学の精神を守りつつ
様々な改革によるチャレンジを＊＊

明治大学
学　長　　福宮　賢一

校友会多摩支部第10回総会の節目の年にあたり，一言ご挨拶申し上げます。

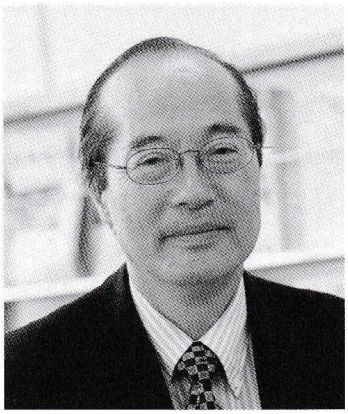
校友会多摩支部が創設され，10周年とお伺いしておりますが，一口にいって10年の歩みは長いようで短いものです。その間には会員各位の地道な努力により18地域支部2万名までの大きな組織となってこられましたが，それは様々な困難を乗り越えてこられたからこそ今日を迎えられたと拝察いたします。改めて関係者各位に敬意を表したいと思います。

さて，本学もこの10年を振り返りみますと，さまざまな困難を果断な取組みにより克服してまいりました。魅力的な大学とすることが受験生に支持されるとの信念のもと，学内のさまざまなソフト面とハード面におけるインフラ整備に意を注いでまいりました。第一には入学試験制度の改革に着手し，全学部統一入試を2007年度から実施したことにより地方の多くの受験生にその機会を増やしたことです。第二には学生のスポーツ活動を支援し，大学の活性化につなげていくために，施設整備をはじめとした練習環境の改善をおこなってきました。第三に，避けては通れないグローバル化の時代において，新たな地平を切り拓くために，積極的に教育改革を行っております。その成果として，幸いにも文部科学省の大学教育改革の支援事業に，本学が申請した国際化に関す3つのプログラムが採択されました。こうした諸改革は校友の皆様のご理解・ご支援なくしては成し得なかったことであり，まさに明治がひとつとなった改革が奏功したと言えるのではないでしょうか。

本学は2011年に創立130周年を迎えました。創立以来「権利自由・独立自治」の建学の精神を守りつつ，様々な改革によるチャレンジがあればこそ，明治大学というブランドがますます輝くものと確信しております。先にも述べました全学部統一入試の導入がその好例といえます。2004年度に志願者数が7万人台後半へと減少し，全教職員が危機感を共有したことが契機となって，入試改革に着手しました。その結果が多くの受験生の支持を得て，ここ7年間では一般入試志願者数が10万人台で推移しています。これはチャレンジの成果でもあり，ピンチをチャンスにした結果ともいえます。今後，一般入試志願者数全国1位の象徴される難関を突破し，将来の校友会の中心メンバーとなるであろう学生のさらなる活躍が期待されます

最後になりましたが，校友会多摩支部のますますのご発展をお祈り申し上げます。

中野キャンパスラウンジ



明治大学校友会東京都多摩支部 第１０回総会に寄せて

＊＊誇りを持った地域に根付いた活動が「明治はひとつ」の原点でもある＊＊

明治大学校友会
会長　向殿　政男

東京都多摩支部が第１０回目の総会を開催されることになり，お祝いを述べさせていただきます。

現在，明治大学校友会は，都道府県ごとに５４の支部が設立され，これに韓国及び台湾の外国支部を加えて，合計５６の支部から成り立っております。そして，これらの支部の中に，２１７の地域支部が設立されております。

東京都の校友会は，東・西・南・北及び多摩の５支部に分かれており，中でも多摩支部は会員数２万２千名（全国２位），地域支部は１９を数える，明治大学校友会の中で最大の組織であります。

東京都多摩支部の素晴らしさは，大きな組織ではありながら，活動はきめ細かく，大変にまとまりがあるところです。毎年の総会時に掲げられる各地域支部の校友会旗は，年々その数が増えており，支部の活力を象徴しております。さらに，今後も稲城市や福生市にも地域支部の設立の動きがあると伺っており，大変楽しみであります。

支部設立当初から組織の活性化へご尽力された，故宮﨑前支部長へ感謝と敬意を表する次第であります。

校友会の活動は，地元に基盤を置いた地域支部の活動が根幹であると思います。校友が連携し，このような地域に密着した組織的な活動が明治大学の評価を高め，「明治ファン」を増やすことにつながると確信しております。校友会のスローガンである「明治はひとつ」とは，地域に根付いて活動する校友の方々が中心になって，母校を支援し，「明治ファン」を増やし，一丸となって前へ進むことを意味しております。その意味では，東京都多摩支部の各地域支部の皆さまは，全国のお手本のような活動を展開されていると感じております。

多様化，高度化が進展する現代社会において，高等教育界を取り巻く環境も年々厳しさを増しております。このような中でも，明治大学は，本年度の一般選抜入試で１０万９９３４名の志願者を集め，４年連続で志願者数日本一を達成いたしました。社会からは，非常に高い評価を得ております。この高い評価を支えているのが我々校友会でありますので，誇りを持って校友会の活動に参画していただきたいと思います。今後ともご協力くださるよう宜しくお願い申し上げます。

多摩地区全域に校友の輪を広げ
組織化にラストスパートを懸ける！

組織委員長
當麻　功
（小平　S39商）

この度、組織委員長という重責を担うことになりました。西山前委員長の敷いたレールに沿い、組織化に努めたいと思いますので、よろしくお願い申しあげます。

多摩支部は一昨３地域支部（あきる野、東久留米、清瀬）、昨年は２地域支部（多摩市、羽村）を組織化し、校友の少ない西多摩郡を近隣の地域支部に統合（あきる野地域支部へ日の出町と檜原村、青梅地域支部へ奥多摩町）し、急ピッチに組織化を進め、全国校友会５４支部の中で最多の１９地域支部を擁する最大支部組織となっています。残す未組織は稲城市（校友数４６１）、福生市（校友数２５９）、瑞穂町（校友数１０６）の２市１町となり、これら地域の組織化を図れば多摩地区全域に校友の輪が拡がり組織化が完了いたします。正しく、多摩地区は一つの大きな輪となります。

稲城市は組織部担当部員と稲城市校友員が組織化に取りかかっていますし、福生市、瑞穂町も担当部員が中心に組織化に取組み始めています。
今年中（H26/3末）に多摩地区全域の組織化に組織部員総力を挙げて取組んで行きますので、皆さんのご協力をお願い致します。

未組織の地域は在住校友の絶対数が少なく、地域支部設立に必要な会員５０名以上の確保が大変厳しい状況にあります。よって、これらの地域に在住校友をお知り合いでしたら、是非、組織部会員または地域支部長までご連絡頂けたら幸甚です。

連絡先
組織委員長　　當麻　功
０４２－３４６－５８５２

最近出来た地域支部と市町村

最近出来た地域支部	所属、市・町・村
青梅地域支部	青梅市・奥多摩町
あきる野地域支部	あきる野市、日の出町、桧原村
東久留米地域支部	東久留米市
清瀬地域支部	清瀬市
多摩市地域支部	多摩市
羽村地域支部	羽村市

（羽村は5月11日の全国支部長会議で承認）

満１歳となりました
清瀬地域支部です、よろしく。

多摩支部行事に積極的なご参加を今でしょ！

企画事業委員長 沼尻　哲　（国立　昭和４６年　商）

企画事業委員会は東京都多摩支部１９地域支部を擁する全国屈指の支部に発展する中にあり「会員相互・地域支部間の親睦を図り、連帯感を深め母校・多摩支部の更なる発展・飛躍を目指す」をテーマに企画・運営・提案を行っております。

平成２５年度事業予定

１：支部総会

今回は東京六大学野球春のリーグ戦で３シーズンぶり３５回目の優勝を果たした１６戦目での法政戦優勝の瞬間をパネル掲示する予定です。

２：中野&和泉キャンパス巡り

本年４月オープン間もない中野と学食ナンバー１の油淋鶏定食のコラボです。（９月）

３：スポーツ応援・観戦

箱根駅伝・六大学野球春・秋のリーグ戦そして１２月１日の国立競技場ラグビー明早戦です。

これらは組織化し「スポーツ愛好会」が取り纏め登録会員に対しその都度連絡、自由に参加するスタイルをとり、神宮では学生応援席最前列に多摩支部応援団が出来る。特に春の法政４戦目は優勝チアリダーの泪する後ろ姿に“やっぱ、明治はええなー”という想いを新たにしました。

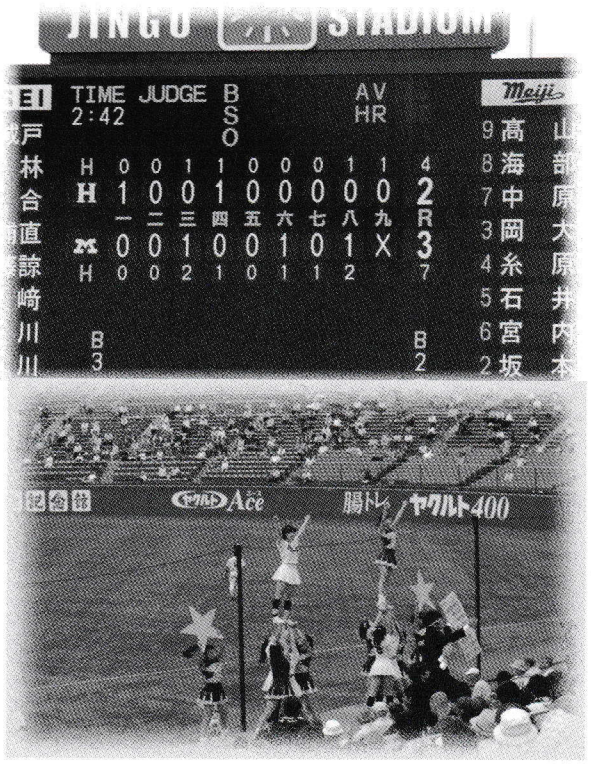
また、ラグビー観戦は年々盛況で、６０名近くがまとまって陣取り大歓声を挙げて母校の応援を行っている。また明治記念館を中心とした懇親会も盛会である。

スポーツ愛好会事務局
沼尻　哲　　042－572－9783

４：地域支部別対抗ディスクゴルフ大会　毎春、国営昭和記念公園の桜の下、公認９ホールで競う。団体は目下村山地域支部の２連覇中です。

５：その他

各地域支部主催行事のＰＲ・支援を行います。
（史跡めぐり・ハイキング・観梅・グルメ・温泉めぐり等々）
校友会会員の皆様のご参加をお待ちしています。



あきる野

多摩市

多摩市地域支部は校友会東京都多摩支部の第１８番目の地域支部として、今年１月に発足いたしました。会員の拡大や財政基盤の確立、広報紙「紫紺」の発行、同好会の展開等々に務め、会員の親睦・交流と母校賛助・地域貢献等に寄与していく所存です。

よろしくお願いいたします。

支部長　岩淵　義郎
幹事長　藤川　忠博

清　瀬

清瀬支部は平成２４年７月に１７番目の地域支部として誕生いたしました。
現在７５名の会員が登録されています。
毎月第３日曜日に市民会館「けやきホール」で役員会及び懇親会を開催しています。地域支部旗開き、忘年懇親会、多摩支部企画事業参加など行ってきました。今後、ウオークラリー・合唱・ゲートボール等々の企画をしています。
平成時代の卒業生等若い方々の加入促進を図っていくことが今後の課題です。

連絡先　幹事長　和田　人男　042-492-1778
204-0013 清瀬市上清戸　2-2-10

府　中

皆さん、こんにちは！府中地域支部です。本支部は今年３０周年を迎えます。昨年、府中の森芸術劇場でのマンドリン倶楽部府中演奏会も１２回と公演を重ね、常任指揮者の甲斐先生やゲストを迎えて毎回、盛大に行われ、ご好評をいただいております。
在住会員募集中ですので、ぜひご一緒に活動しませんか？

183-0045　府中市美好町3-15-1
石阪　康平　方　042－302－3713
（大國玉神社ー府中市ＨＰより）

羽　村

６月１５日、念願の校友会地域支部旗の授与を受けました。会員数６１名の小さな支部ですが、会員の力を合わせ母校との結び付けを強めさらに地域社会に少しでも貢献できたらと望んでいます。

支部長　渡辺　清　（昭３５年　法）
幹事長　並木　一夫　（昭３９年　工）
（羽村市ＨＰより）

武蔵野

緑豊かなスマートシティ武蔵野、１０００名余の校友が在住。会員登録１００名弱。

只今、会員募集中です。

支部長　田中　節男　（昭４２年　法）
幹事長　秋本　正　（昭３９年　政）
（武蔵野市ＨＰより）

～ 青梅支部よりのお誘い ～

青梅の御岳にお越しください！

夏から秋にかけての御岳は、
最高のシーズンで、
自然もイベントも盛り沢山。
空気の美味しさだって違います。
魅力あふれる御岳に、
ぜひ足をお運びください。

★御岳山の「レンゲショウマ」の群生（8月）
★武蔵御嶽神社の「薪神楽」（9月14日・15日）
★多摩川で「ラフティング」ツアー（11月まで）
★多摩川で「カヌー＆カヤック」体験（11月まで）
★御岳渓谷での「国体カヌー大会」観戦（10月4日～7日）

プラン作成のお手伝いや当日のガイドなども承れます。
お問い合わせください。
⇒ 原嶋（0428-78-8395）、村野（0428-24-9931）まで

小金井

小金井に在住の明大ＯＢ・ＯＧの皆様、学生の頃を思い出して懐かしんでみませんか、あの明治大学の校歌を最近歌ったことがありますか、うですか仲間と大声で歌ってみませんか、小金井地域支部では仲間を募集しております。
色々なイベントもあります。
あなたの連絡をお待ちしています。

０８０－３９１７－４３２１支部長　池田
ikeda@a1tus.ne.jp

東久留米

「おお明治・・・をご一緒に」の呼びかけで第２回目の定時総会を５月に開催、**若くて元気なのが当支部です**。毎月第一土曜日に役員会を開催、会の運営・連絡事項等を熱く議論。ようやく地域支部の基礎固めが出来つつあります。

女子会・散策会・ゴルフ会が定着し、親睦の輪を深めています。先輩諸地域支部も抱える共通の課題かと思いますが、若い世代校友の参加率向上に向けたご意見・名案・成功例等を集約させて組織の拡大に努めたいです。

八王子地域支部

古く戦前より時代に即して活動しております。地域校友は三千名を超え、年次総会での楽しいひととき、秋の日帰り旅行等、会員の皆様に支えられております。

事務局　192-0154 八王子市下恩方町1684
前田善一郎 方　TEL 042-651-3717

日　野

明治大学では、日野市の多摩テック跡地に明治大学スポーツパーク（仮称）を開設する計画があります。日野地域支部では、これらを活用すると共に、地元の特性を生かした校友会活動を進めてまいります。

日野市在住、在勤の校友の皆様のご入会をお待ちしております。

新規会員募集中

事務局：〒191-0033東京都日野市百草971-29
日野地域支部長 鈴木紘一 方 tel：042-593-3883
（百草園）

国　立

校友会本部は紫紺ネットへの登録を全国的に呼び掛けています。国立地域支部もＨＰを通じて情報提供を図っており、全国の校友がご覧いただけます。ゴルフ・グルメ・屋形船・野球・ラグビー等々企画皆様のご参加をお待ちしています。

恒例のタケノコ掘り

町田駿台会

検索

昭和５５年支部発足以来母校愛に燃える校友が、母校賛助と親睦・交流に活動をしています。
町田市外在住会員も多く、ゴルフ・家族ハイキング・歌を楽しむ会・温泉を楽しむ会・紫紺句会・ボーリング同好会・スポーツを応援する会・麻雀同好会が活発に行われています。

只今、支部会員募集中!

事務局　194-0034 町田市木曽西3-10-7
野平耕作　方　042-792-0567

村山地域支部

東村山市・東大和市・武蔵村山市

＜地域支部年間行事＞

- 4月　総　会
- 7月　校友会夏まつり
- 9月　校友会親睦旅行(1泊)
- 12月　明大マンドリン倶楽部演奏会
- 1月　新年会

上記以外にも、地域のまつりに出店して大学と校友会のPR活動等も行っています。
☆校友の輪をもっとひろげましょう！☆

武蔵村山
村山デエダラまつり

東大和
うまかんべーまつり

東村山
東村山蚕蒲まつり

小　平

ホームページを覗いて！！

総会・ゴルフコンペ・観梅会・観桜会・散策会・演芸観賞会・私の趣味シリーズなど満載！1200名余の小平校友と共有しています。

小平には”明大焼きそば”があります。市民祭り限定出店、昼過ぎには完売！昨年は８８８パックを14:40分にウリキレ！！

小平は支部発足”３０周年”を契機に絆の輪がさらに大きくなって、前へ新たな一歩を踏み出します。

小平校友の皆さん、先ずは行事の一つにご参加ください、お待ちしています。

三　鷹

三鷹地域支部は平成１７年に発足、８年目を迎え100名余の会員で構成。年間主要行事は６月総会懇親会、10月ゴルフ大会、東京港視察研修会、競馬観戦、１月新年会等近隣の支部からも参加する程の人気です。今後も多くの会員が楽しめる事業を企画します。

国分寺

武蔵国分寺跡周辺
散策のご案内（西山強）

昨年の５周年記念事業に続く第２弾として、天平のロマン香る古代伽藍一帯の史跡めぐりを企画しました。
多摩支部校友のほか、ご家族・ご友人のご参加を心より歓迎します。　＊小雨決行

【日　時】１０月１２日(土) １３時半～１７時
【集　合】ＪＲ西国分寺駅南口＊集合解散共
【コース】尼寺跡、僧寺跡、七重塔跡ほか
【ガイド】当支部幹事長　福田信夫　氏
（国分寺市教育委員会勤務）
【懇親会】駅周辺にて（会費３５００円前後）
【申込み】☎０４２－３１２－４９７１（９月末迄）

立　川

演奏会中止です！

恒例の明治大学マンドリン倶楽部の立川演奏会は、会場の改装工事の為、今年は開催できません。
ファンの皆様には誠に申し訳ありませんが、来年までお待ちください。

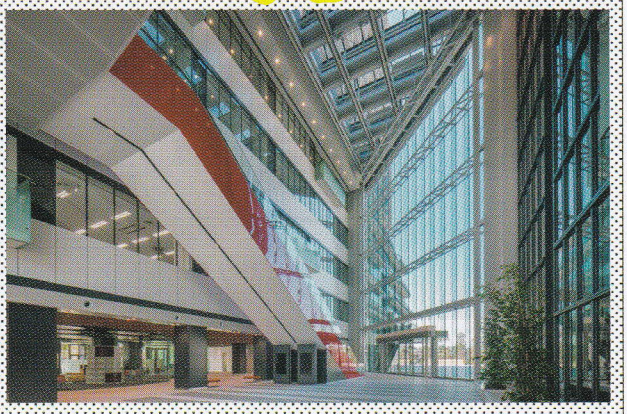
来る６月１日の市民会館の使用申込抽選会には、強運を持ちまして、必ず希望の日を当てるつもりです。

予定日は平成２６年７月２１日又は２８日となっています。

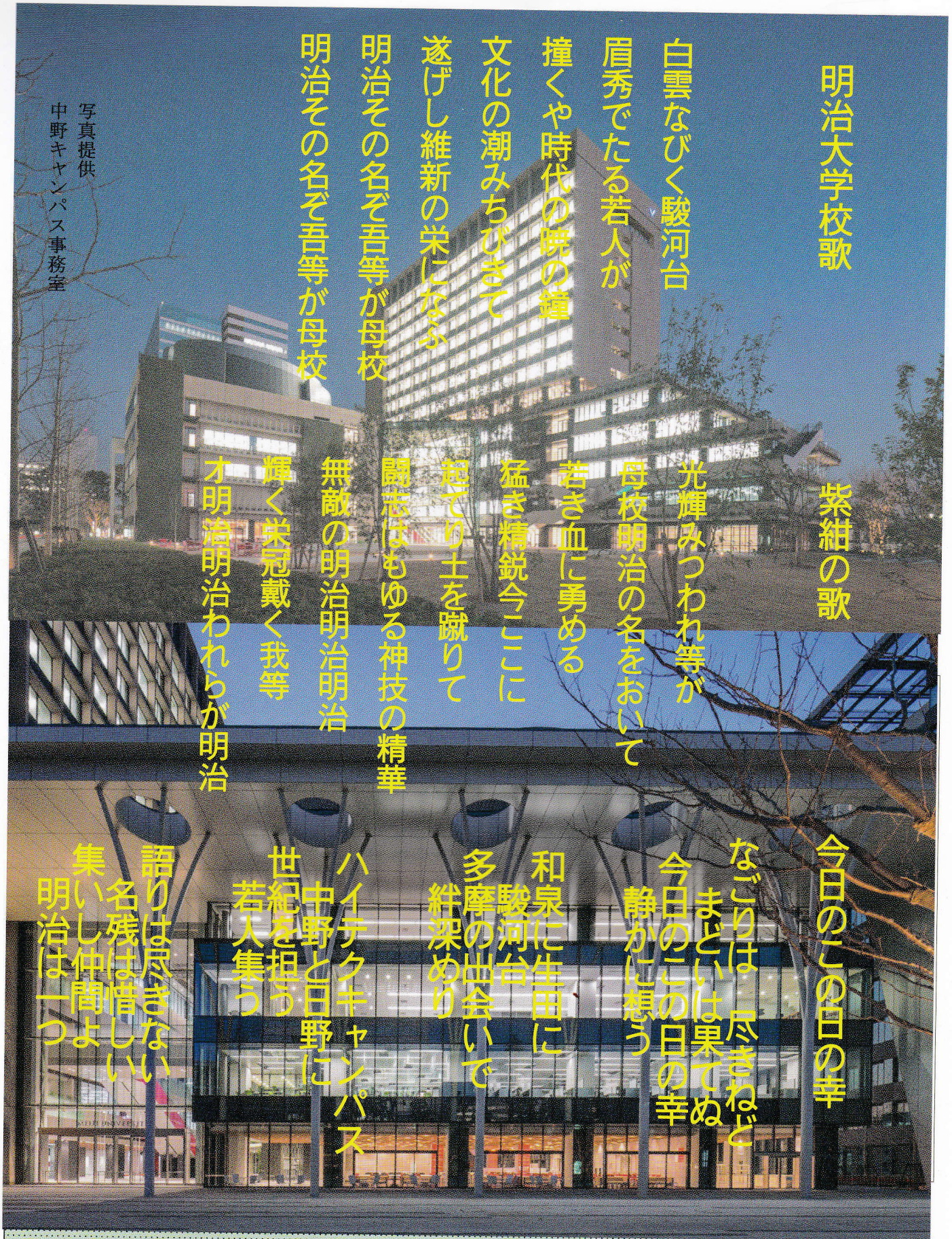
立川地域支部　支部長　橋本直樹
☎　０４２－５２２－８６９６

写真提供：中野キャンパス事務室

中野キャンパスフォト紹介



祝す 春季リーグ完全優勝！



写真提供
中野キャンパス事務室

明治大学校歌

白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の栄になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

紫紺の歌

光輝みつわれ等が
母校明治の名をおいて
若き血に勇める
猛き精鋭今ここに
起こり土を蹴りて
闘志はもゆる神技の精華
無敵の明治明治明治
輝く栄冠戴く我等
オ明治明治われらが明治

今日のこの日の幸
なごりは尽きねど
まどいは果てぬ
今日のこの日の幸
静かに想う
和泉に生田に
駿河台
多摩の山合いで
紐深めり
ハイテクキャンパス
中野と日野に
世紀を担う
若人集う
語りは尽きない
名残は惜しい
集い仲間よい
明治は一つ

編集後記　この春、６２年振りに新たなキャンパス＝中野キャンパスが開設された。昭和２６年（１９５１年）の生田キャンパス以来のことである。国際化・先端研究・社会連携の拠点としてその発展を大いに期待したい。多摩支部も発足時１０地域支部から１９地域支部となり、巨大組織がゆえに更に地域支部間の連携が求められる。「明治はひとつ」のもと安田　暉支部長を中心にクオリティアップを図りましょう。

発行責任者　　支部長　　安田　暉
編集・広報部会　飯田光宏・柴田健彦・金子満寿美・三上省三・小山敦・菊地敏郎・土屋栄一・中島尚三
安藤興彦・村野公一・尾形順一・内田朝子・松江康司・内田保男・土井隆夫・大島孝之